



ニュースリリース

2007年7月

---

---

抗がん剤および診断薬の研究・開発・販売のバイオイメージング分野の P2 レベル研究施設  
**「AntiCancer Japan, Inc. Molecular Imaging Lab」開設**

---

---

アンチキャンサージャパン株式会社

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、アメリカ カリフォルニア州サンディエゴの抗がん剤および診断薬の研究・開発・販売を目的としたバイオベンチャーAntiCancer,Inc.の日本法人であるアンチキャンサージャパン株式会社(大阪府茨木市 代表取締役 八木 滋雄)は7月3日、バイオイメージング分野で新たなイノベーションを創出するための研究施設“AntiCancer Japan,Inc.Molecular Imaging Lab”を正式に開設いたしました。

当施設は、最先端のバイオイメージング装置を備えており、独自の技術である『蛍光タンパク[緑色蛍光タンパク(GFP)や赤色蛍光タンパク(RFP)]を使った小動物による in vivo(生体内)イメージング』の研究・開発と小動物モデルの展示を行う P2 レベル\*の研究施設です。更に、当施設では、(イ)抗がん剤評価の受託および評価技術のライセンスの供与、(ロ)がんの画像化技術の研究・開発、(ハ)抗がん剤研究用および実験用トランスジェニック・マウスの研究・開発・販売およびライセンスの供与、(ニ)バイオテクノロジー関連の研究・開発、などの広い分野の活動を行います。この研究施設は、バイオベンチャーの起業・育成を目的として設立された彩都バイオインキュベーター内に開設されています。

P2 レベル\* Physical containment level: 組み換え DNA 実験を行う場合、組み換え体などの実験区域外漏出を防止するため物理的封じ込めを採用し、実験で取り扱う生物に応じて、P1 から P4 までの 4 つのレベルに区分されている。

■アンチキャンサージャパン株式会社 広報代行 プラップジャパン

担当: 田村/黒部

TEL: 03-3486-2673 FAX: 03-3486-7502

当日連絡先: 090-6195-1219

■アンチキャンサージャパン株式会社

大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目7番15号

彩都バイオインキュベーター106号

担当: 谷本/中山/八木 TEL & FAX: 072-643-1048